

複数の診療科を跨いだ情報の共有が実現し  
患者様ひとり一人に対して病院全体での対応が可能に



院長 宮内先生

**導入経緯**

**院内の診療情報の集約と共有化を目指して**

以前の当院はX線フィルム、CT・MRIの読影所見用紙、心電図記録用紙、エコーレポート用紙や病理診断レポート用紙など現物が手元になければ情報の参照が不可能な状況でした。つまり、一人の患者様の情報を全て見るためには、各部門へ分散された情報を集積しなければならなかったのです。高齢化が進み複数疾患を抱える患者様が増え、一人の患者様が複数科を受診される状況が増える中、検査結果などの診療情報の集約、共有は極めて重要なこととなりました。

オーダリングシステムの更新時期を迎えるにあたり、ゼロベースからの基幹システムおよび部門システムの選定が始まりました。その中でPACSの更新についても検討を行っており、既存ベンダーをはじめいくつかのベンダーから機能やコストについて話し合いを行う中にアストロステージも含まれていました。

国際モダンホスピタルショーへの参加や他施設との情報交換をしていくうちに、アストロステージについての情報を耳にし、機能やコストについて説明して頂きました。当初、PACSについて説明をお願いしていましたが、統合ファイリングシステムを導入することによる、画質や表示速度、フィルムレス化やデータの一元化、操作性、各部門での情報共有ができることに魅力を感じました。臨床検査システム情報の一元化やME機器管理システム等の導入を検討している中で、STELLAR導入によりそれらのシステムも同時に構築でき、各部門の要望も対応して頂けることはスタッフにも好評でした。また、各部門のシステムが一連の導入により、コスト面においても安価に対応していただけることがわかり、当院において条件がぴったりマッチしていました。電子カルテの導入は決して安い買い物ではなく、また長期に渡り使用していくものです。職員が納得するシステムを低コストで導入できることが大きなポイントとなりました。

導入システム	
DICOM 画像管理システム	Nazca
RIS システム	NazcaRIS
診療情報統合システム	STELLAR
ドキュメント作成&管理システム	STELLARReport
部門システム	ASTRO Launcher

**導入効果**

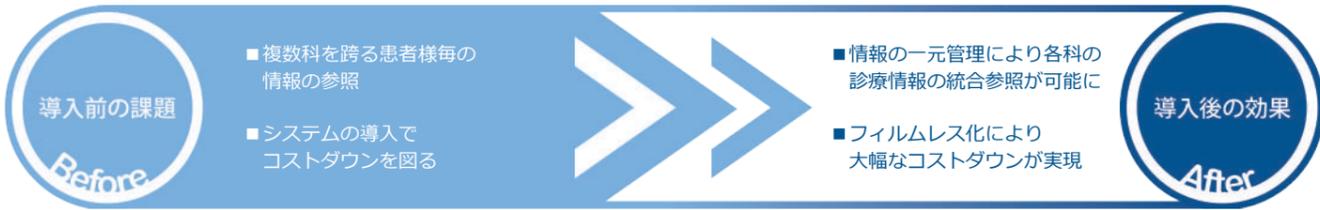
診療情報の総合参照が可能となり  
業務の負担が軽減され医療の質も向上

情報の一元管理が可能になるとともに、いままで各科ごとにばらばらだったX線フィルム、検査結果用紙、読影所見などの診療情報が統合参照できるようになりました。これにより各部門の別々のサブシステムの画面を開く必要が無く、一人の患者様の全体の診療記録を参照することができます。電子カルテ情報の全体像を俯瞰し、自分の欲しい情報を簡単に探し出すことができる「電子カルテ上の診療地図」と言えるでしょうか。必要な情報を整理分別できる強みを生かし、医療従事者に寄り添った視点でサポートしてもらえるシステムだと感じています。

術中にiPadで撮った画像をPACSに送れる「iNazcaPhoto」も重要としています。当初はフラッシュが無く撮影時や参照時に若干のストレスを感じておりましたが、アストロステージへ伝えたところ、すぐに機能の改善をして頂きドクターにも喜んでもらっております。



放射線科部長 篠原先生



**愛媛労災病院：システム導入時期 / Feb 2015**



愛媛労災病院は昭和31年に誕生し、新居浜市の中核病院として、感冒や貧血などの日常的な疾患から心筋梗塞や糖尿病、ガンなどの重篤な疾患まで幅広く治療を行っています。また、新生児から老人まで幅広い年齢層の患者様に対応することが可能です。当院では労災病院の特徴を生かし、健康増進のための情報発信や予防医療、労働災害や職業病などを体系的に取り扱っています。医師や看護師、薬剤師、臨床検査技師などが協力して患者様にチーム医療を行えることも強みです。当院は地域の皆様から頼りにされる病院でありたい、病気の状態や治療法をとことん話し合える病院でありたいと願っています。患者様と医療従事者という人間関係を大切にしたい、皆様が安らぎを得られる病院を目指して前進していきます。

所在地：愛媛県新居浜市南小松原町 13-27  
病床数：306床  
診療科：内科・精神科・呼吸器内科・循環器内科・小児科・外科・消化器外科・整形外科  
形成外科・脳神経外科・心臓血管外科・皮膚科・泌尿器科・産婦人科・眼科  
耳鼻咽喉科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科・歯科口腔外科

**今後の期待・要望**

診療情報の分別管理をもっと強かにサポートして欲しいと思います。これはSTELLARが担うべきか、電子カルテシステムが担うべき機能かはっきりしませんが、医師が書いた情報だけを呼び出したり、多職種が加わったカンファレンス記録だけを分別したりできれば以上以上に便利になると考えています。フットワークの軽いアストロステージに期待しております。

**今後の方針**

文書管理なども一元化を図っていきたいです。眼科、耳鼻科、泌尿器科などにもシステム化を拡張していきたいと考えています。患者様毎の情報共有により、全体業務の軽減、医療の質の向上によるさらなる医療の安全の向上を目指し、これからも地域の皆様のお役に立てるよう、アストロステージと協力して進めていきたいと思っています。

**システム構成図**

